【展開図】　　ちゅうりっぷ組（１歳児）　　今日のねらい　　・一人一人が安心して自分の気持ちを表すことができるようにする

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・好きな遊びを見つけて、保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ

|  |
| --- |
| 予想される子どもの活動　　　　　[　　　　　　　　　　　]　活動に対する留意事項 |
| おしっこにいこうね・一人一人に優しく声をかけ、個別にトイレへ誘い便器に座っている時は側について見守る。排尿できた時にはたくさん褒めて自信へとつなげていく。・ズボンやパンツの着脱は、自分でしようとしている時は見守り、できない所はさり気なく援助する。９：３０

|  |
| --- |
| ごちそうを食べよう |
| 1. 食べ物をお皿にのせたり、器やお弁当箱などに入れたりしてごちそうを作る。
2. ごちそうを食べたり、保育者に「どうぞ」と渡したり食べさせたりして簡単なやりとりをする。
3. 鞄や作ったごちそうを持ってお出かけをする。
 |

|  |
| --- |
| おうちに入ってみよう |
| 1. トンネルをくぐったり、大小の穴や窓から顔を出したり覗いたり手を入れたりして遊ぶ。
2. イスに座って作ったごちそうを食べる。
 |

|  |
| --- |
| 手作り玩具で遊ぼう |
| 1. マジックテープの玩具を付けたりつなげたり外したりする。
2. 洗濯ネットの玩具に、マジックテープの玩具や食べ物を入れたりファスナーを開けて出したりする。
 |

1. ②子ども同士の遊びを見守りながら、保育者も

子どもと一緒に楽しみ、遊びが広がっていくようにする。①②押したり叩いたりなどのトラブルがないように子どもの様子を見守り、安全面に配慮していく。①②「おいしそうだね」「ばあー」「みーつけた」などの言葉かけをしてやりとりが楽しめるようにする。・「いっぱい遊んで楽しかったね。また遊ぼうね。○○を持って来てくれる？」と声をかけて、子ども達と一緒に片付けをしていく。・ある程度片付けをしたら、楽しんでいた子ども達の姿を話し、楽しかった気持ちを共感する。1. マジックテープの玩具は、十分な数を用意し遊びが楽しめるようにする。

①②マジックテープの玩具が付けにくい時やファスナーの開閉ができない時には、手を添えて一緒にしながらやり方を知らせていく。できた時は、たくさん褒めてまたやってみようと思えるようにする。①②保育者が楽しんで遊ぶ姿を見せて、やってみようと思えるようにする。１０：３０また　遊ぼうね①③食べ物やお皿、器、鞄などは十分な数を用意して遊びが楽しめるようにする。①②③「おいしいね」「いただきます」「ばいばい」「いってきます」などのやりとりが温かな雰囲気の中で楽しめるようにする。①②③子ども同士で遊んでいる時には側で見守り、必要に応じて仲立ちをしていく。また、保育者も一緒に遊びながら楽しさを共有していく。おやつにしようね・広いホールで子ども同士ぶつかったりしないように十分気を付けて見るようにする。・ゆったりとした子どもが好きな曲を用意し、保育者が楽しく踊ることで、子ども達が楽しい気持ちになるような雰囲気作りをする。・歌を歌って楽しみ、朝の挨拶やいただきますをし、楽しい雰囲気を作る。・お茶がこぼれそうな子どもに対しては、コップの持ち方を伝えたり、そっと手を添えたりする。・一人一人が快適に過ごせるように、気温や体調に配慮し、室温や湿度を調節する。・玩具や用具を安全に配置し、清潔にしておく。・子どもの言葉や仕草から思いや欲求を受け止めて、応答的な触れ合いや言葉かけをしていく。・遊びが見つからない子どもには、声をかけて好きな遊びを一緒に見つけて楽しみ、満足して遊べるようにする。わあ、なにこれ～！おもしろそう一緒に踊ろう |

評価の視点　　・安心して自分の気持ちを表すことができるように、一人一人の思いを受け止めて関わることができたか。

・好きな遊びを見つけて保育者や友達と一緒に楽しむことができたか。

　　　　　　　　　　　・物的環境や援助は適切であったか。